

# 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市水の公園福島潟 水の駅「ビュー福島潟」、潟来亭、キャンプ場			
管理者名	福島潟推進グループ	指定期間	令和6年4月1日	～ 令和11年3月31日
担当課	新潟市北区産業振興課			
所在地	水の駅「ビュー福島潟」：新潟市北区前新田乙493番地、潟来亭及びキャンプ場：新潟市北区新鼻乙11番地1			
根拠法令	都市公園法			
設置条例	新潟市都市公園条例			
施設概要	<p>○水の駅「ビュー福島潟」 延床面積2,607.74㎡／鉄骨・鉄筋造、地下1階地上7階建／管理棟／平成9年7月設置</p> <p>○潟来亭 延床面積138.29㎡／木造平屋建／集会所・休憩所／平成9年3月設置</p> <p>○キャンプ場 敷地面積4,000.00㎡／芝生、炊事場1棟、釜戸4基／キャンプ場／平成9年3月設置</p>			

施設設置目的	
○水の駅「ビュー福島潟」	自然保護と地域文化の伝承及び新たな文化の創造を目指す自然文化の情報発信施設として水の公園福島潟の中心的な役割を担う。また、博物館的機能や美術館的機能を兼ね備えた施設でもある。
○潟来亭	潟端の昔の民家を再現した建物で、潟の歴史や生活様式を感じながら人と人の交流の場・休憩の場を提供する。
○キャンプ場	キャンプ場は、水の公園福島潟の宿泊スペースとして利用し、キャンプをとおして自然を体感する場所を提供する。
管理・運営に関する基本理念，方針等	
1 基本理念	市民と指定管理者そして行政が協働・連携して、水と土の象徴である「福島潟」を保全・復元し、自然保護を行い、市民のふれあいの場、学習の場そして活動の場を提供し、地域文化の伝承と新たな文化を創造する「自然文化」を推進する。
2 管理運営方針	<p>①市民の福島潟に対する意思を十分に尊重するとともに、市民と行政と協働・連携を図り効率的な事業の運営を行うものとする。</p> <p>②「地域づくり」、「人と自然の共生」、「環境保全」を更に進め、豊かな福島潟を後世に継承していくものとする。</p> <p>③各施設の機能や設置目的を理解し、適正な管理運営を行い、その効果を最大限に発揮させるよう努力するものとする。</p> <p>④業務全般について、計画立案を行い、目標及び業務計画を策定し、業務仕様書に示す業務を適切な進捗管理を行い効率的かつ効果的な管理運営を行うものとする。</p> <p>⑤入館者及び施設使用者の意見を反映させサービス向上を図ると共に、平等利用に努めるものとする。</p> <p>⑥施設の管理運営経費の削減に努めるものとする。</p>
3 実施事業	<p>福島潟の自然文化に資するため次の事業を行う。</p> <p>①福島潟の自然保護の普及及び啓発に関すること (環境学習等に係る学校案内等、企画事業、環境保全事業 等)</p> <p>②福島潟の自然及び文化に関する情報の収集及び提供に関すること (自然情報や地域文化の情報収集、ホームページ等での情報提供、民具等の展示 等)</p> <p>③福島潟の希少な動植物の保護及び育成に関すること (オニバスやオオヒシクイ等保護育成 等)</p> <p>④市民が行う福島潟の自然又は文化に関する活動の支援に関すること (各市民団体が行うイベント協力等の活動支援、ボランティアの受け入れ環境の整備 等)</p>

令和6年度

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	施設入館者数	水の駅「ビュー福島潟」入館者数(1階カウンター)年間97,000人 有料入館者数年間40,000人	・1階カウンター年間82,151人 昨対104.7% ・有料入館者数年間22,143人 昨対73.4%	C	昨年を上回ることはできたが、自然災害等の影響により指標には届かなかった。
	企画展の実施	年9回	年9回	B	
	各種サービス満足度	利用者アンケートの実施で満足度が70%以上	「大いに満足」と「満足」を合わせると98.3%	A	指標を大きく上回った。
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望には5営業日以内に回答	苦情・要望等には、5日以内に対応した。	B	
	自主事業の実施	設置目的に合致した自主事業の実施	自然観察イベント、飛立ち調査などは継続しつつ、インバウンドツアーの受け入れなども実施した。	A	インバウンドツアーの受入れにより、海外に向けても福島潟の魅力を発信した。
財 務	運営経費の削減	管理運営経費を指定管理料年度協定額以下	想定外の備品の故障や、光熱費の上昇が響いた。	C	管理料は備品の修繕が影響し、赤字となった。
	適正な財政運営、財務管理	収支計画に基づく収入の確保及び費用の執行、収支状況記録の適正な管理	適正な記録、管理を行った。	B	
業 務	事業の適正な実施	業務仕様書等に定める事業の実施及び遵守と業務マニュアルの作成	業務仕様書に定める事業を行った。	B	
	福島潟の自然環境に関する普及啓発	環境学習等案内100回以上、各種体験講座、観察会20回以上	・環境学習等案内 121回 ・体験講座、観察会 66回	A	環境学習は21回、各種体験講座等は46回、目標数を上回った。
	福島潟の自然文化に関する情報の収集及び提供	自然情報の収集週1回以上、地元学イベントの開催、ホームページ等の更新200回以上	・自然情報収集 週2回以上 ・地元学企画展「ツルバンとバカドリ」展 ・HP更新121回、Instagram更新240回	A	指標を大きく上回った。
	希少な動植物の保護及び育成	オオヒシクイやオニバス等の調査、啓発活動随時、希少な動植物に関わるイベント30回	・飛立ち調査24回 ・周辺調査24回 ・オオヒシクイ案内所3回	A	指標を大きく上回った。
	市民が行う自然文化活動の支援・協働・連携	通年で良好な対応、市民団体が行う活動の支援や連携イベント20回以上	・ねっつわーく福島潟33回 ・鳥影会14回 ・ヨシあし和紙の会1回 合計48回	A	指標を大きく上回った。
	事件・事故発生時の対応の適切さ	AED等救急機器の使用法研修を実施、事件事故時適切な対応	館内1階と湯来亭、それぞれ1台ずつの2台体制で事故に備えている。	B	
	安心安全の確保	防災等訓練年2回、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備	・消防訓練をビュー福島潟で1回、湯来亭で2回実施した。 ・緊急連絡網と危機管理マニュアルを整備した。	A	指標を大きく上回った。
人 材	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	職員研修を年2回以上実施	・エクセルの研修を2回実施 ・ショップと喫茶のレジ、柳卸し研修を4回実施	A	指標を大きく上回った。
	自然指導員人材育成	自然系専門知識習得の職場内研修等を年4回以上実施	・野鳥の飛立ちカウント研修を4回実施 ・植物、野鳥の見分け方OJT研修を5回実施	A	指標を大きく上回った。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	労働関係法令を遵守し労務管理を行った。	B	

【評価基準】

- A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
- B: 要求水準(評価指標)が達成されている
- C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

### 指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

- 入館者数は1階カウンターで昨年比104.7%と昨年は上回ったが、評価指標値には届かなかった。悪天候による自然文化祭の中止が大きく響いている。次年度は展望ホールや潟来亭の貸し出し希望の方が増えているため、それらをうまく取り込みたい。
- 年度初め早々に続けてトラクターが故障し、大きな出費となった。また、空調の修繕に伴い、光熱費も増加したことも大きかった。次年度はトラクターは新しい物が来る予定なので修繕は無いかと思うが、光熱費については空調の使用をなるべく抑えて、支出を抑制したい。
- 地域や行政からの要望を受け、新潟観光コンベンション協会と連携してインバウンドモニターツアーを複数回受け入れた。これにより、地元団体だけでなく我々も恩恵を受けることができた。

施設の運営方針である「福島潟の保全・復元」と「自然保護」、及び「市民のふれあいの場、学習の場、そして活動の場」の提供を行うとともに、赤字体質解消のため、指定管理事業と自主事業の収支状況の改善に努める。

### 所管課による総合評価(所見)

現地調査日:令和7年7月25日

令和6年度から新たに福島潟推進グループが指定管理者に選定された。従前の指定管理者からの業務の継承もスムーズに行われ、大きな問題は生じていない。令和5年9月20日付で、同グループから提出された申請書によれば、「菱風荘と併せて管理することで、これまで以上に福島潟の自然や文化を保護しその魅力を伝えることができる」という応募動機を有しており、さらには「指定管理期間内でビュー福島潟の入館者を10万人を達成」という意欲が述べられている。令和6年度の入館者は目標に対し下回っており、掲げた目標に対してはさらなる取り組みが期待される。アンケートを記入した入館者の評価は高く、自然を生かした企画や魅力的な自主事業、丁寧な接遇が行われている。また訪日観光客へのアプローチへの意欲も高い。収支面では、指定管理事業会計で赤字が生じたため、自主事業から予定以上に補填することで乗り切った。諸経費の上昇でやりくりが苦しかったようだが、「業務」「人材」の評価は、A、Bでサービスの質・回数の堅持もしくは拡充に努めた点は評価する。